



広見町の特設コーナーも大人気（10月26日、土曜市感謝祭で）

——とじておくとも便利です——

あなたと市政をむすぶ★★★★

広報 **なんこく**

11/1

1985 No.439

編集・発行／南国市広報委員会

——広報に載ったあなたの写真をさしあげます。企画広報係へお申し込みください——

第17回市民賞

坂本清男さん 谷 勲さんを表彰

《産業、福祉》 坂本清男さん

(奥崎・78歳)



昭和十二年五月から三十一年九月の後免町合併まで旧瓶岩村議会議員として村政発展に尽力。町村合併にも活躍された。

三十七年十一月から現在に至る間、南州市農業委員会委員として激動期の農地行政、農業振興行政に尽くし農業の近代化に今なお努力している。この間、五十八年から五十九年まで南州市農業協同組合運営委員長として米の再編対策、特種農作物等の導入、農産物生産組織強化に努力された。

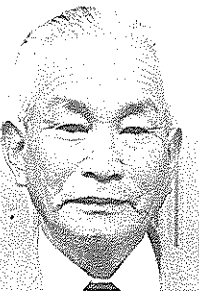
また、旧瓶岩村農業協同組合理事、旧瓶岩地区農業共済組合理事、

市政発展に功勞のあつた個人や団体に贈られる「市民賞」に、今年は個人二人が選ばれました。
市民賞を決める選考委員会（吉村雅男会長・委員十人）は十月十五日に開かれ、市民から推薦のあつた坂本清男さん、谷勲さんの二人を表彰することを決めました。表彰式は、十一月三日（文化の日）に市役所で行われ、小笠原市長から表彰状と記念品が贈られます。

南州市農業共済組合理事、国見森林組合監事・理事の要職を務めるなど林道の整備等にも尽力。
二十九年には瓶岩村中央公民館建設委員として、自ら多額の資金を寄附し建設に貢献。四十三年から瓶岩地区公民館運営委員長、五十三年から瓶岩地区老壮クラブ会長、そして六十年六月から南州市老人クラブ連合会長に選任され、心身とも豊かな高齢化社会をつくるため活躍されている。

《一般》 谷 勲さん

(左右山・68歳)



昭和五十二年一月、左右山部落の総代に推され、今日まで地域共同体の福利増進と社会福祉への奉

仕活動を続けている。
五十三年、比江山に高知県中央木材団地を導入するための開発問題が起り、これに対応する地元組織として国府地区比江山対策委員会が結成されると、衆望を担って委員長の重責を負い困難な対応策の激務に挺身され、諸問題を沈着に処理して事態を円満解決に導くことができたのは、氏の公益への奉仕精神のたまもので、その功績は大である。
更に、国道32号東バイパスが左右山地区中央の美田地帯を貫くことになったため、この交渉あつせんあたり、地権者会の中核となつて用地買収の急速な完結に尽力。その後も工事施行に伴う種々の問題について日夜努力を重ね、六十年には本工事に関連して左右山川上流の改修が必要になると、その問題解決に努力され、改修工事の年度内着工が見込まれることとなり、国の高速道建設事業という公益推進に大きく貢献している。

市民憲章

わたしたちの郷土南州市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。

☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。

☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。

☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。

☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。

☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。

☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。

三和地区市政懇談会

11月16日に美化シンポジウム

みんなの討議で。。。 ハエ、ごみ問題解決へ

公民館事業の一環として、三和地区で初めての市政懇談会が十月十八日夜、住民約五十人が参加し地区公民館（竹内春館長）で開かれました。市からは小笠原市長、浜田助役、関係課長らが出席し、地元の抱える問題など約三時間にわたって熱心に話し合いました。

話し合いの内容は。

○海岸地域のハエ問題は深刻だ。何とかならないものか。



7月21日には地元の住民ら約1,700人が十市から久枝までの海岸を一斉清掃

●十四～五年前から問題となり、その原因はハウスに使う肥料にあることは、はっきりしている。農協の園芸部とも協力し、肥料の中に薬剤を混ぜるなどの処置をして対応しているが、まだ決定的な効果が上がっていない。現在の他の肥料でやれないかモデル研究をしており、また家庭からの成虫駆除にも協力を願っているところだ。十一月ごろに、堤防の堆積ごみの問題も含め、海岸地域美化のシンポジウムを計画しており、地域のみんなで研究、討議をしてもらい、環境美化を進めていきたい。

○指定のごみ袋を使用しないで、スーパーなどの袋を使って出している人もいるのでは。

●処理の上からも、分別収集は徹底しなければならぬ。最近、ごみステーションのよこが言われており、スーパーなどの袋では衛生的にも問題がある。ステーションはごみ捨て場ではないということをしつかり認識してもらい、決

められた時間に、正しく分別して出してもらいたい。

○空き缶、空きびんのポイ捨ては後を絶たない。市として、どんな取り組みをしているのか。

●機会あることにアピールしている。環境週間には子供たちにも呼びかけ、啓発事業に取り組んでいるが、モラルの問題でもあり妙薬はなく、美化意識の高揚を今後積極的に進めていきたい。

○国保係から「医療費のお知らせ」が送られてくるが、何か突き付けられるような気持ちになる。

●突き付けるというのではなく、皆さんが支払った医療費を確認してもらおうという意味です。

○久礼田に体育館兼用の施設ができるようだが、南部地区に体育施設をつくる計画はあるのか。

●久礼田体育館は、比江山の木材団地誘致に伴う、国の高率の補助を受けて建設している。公民館としての役割も持つもので、北部地域を含めた体育施設というものはない。

○文化ホールを建設する計画は。

●文雅協や婦人会などからの要望も多い。しかし、現在の財政状況からは厳しい面がある。四〇〇〇近くが木造校舎であり、まず学校施設の整備を急ぎたい。

○市役所にいつ行っても、車を置く場所がない。駐車場の管理を考

えてみては。

●議会やいろいろな会があるとき混んでおり、現在東隣りの空き地に駐車場を設けるよう進めている。

○職員への対応が悪い。登庁時間が厳守されていないように思う。

●勤務時間を守ることは、公務員の第一条件だ。一人でも市民の皆さんに批判されることのないよう、教育と指導を徹底していきたい。

○職員が多過ぎはしないか。昼休みの窓口業務を早く実施してもらいたい。

●職員数は、職員一人当たりが抱える市民の人数は百六十人と県下の市の中では最も多く、他の市に比べ職員数は少ない。昼休みの窓口業務は、基本的には実施すべきだと考えている。現在、職場でもどこの範囲までの窓口業務をしていくか、検討しているところだ。

○海岸の国有地の払い下げはできないものか。

●国が保安林としていたので、まずその指定をはずさなければならぬ。それには、地元全員の同意がなければならず、その後に払い下げとなってくる。

そのほか、「三和地区内の下田川後川の改修を早くしてほしい」「道路舗装など、約束したことはきちっと守るべきだ」「要望を出したものは、現地視察を必ずやつてもらいたい」——などの意見が出ていました。

市民の人権意識を高めよう」と、昨年四月から一年間、南国市が法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会から「人権モデル地区」に指定され、人権意識調査や講演会、映画会など幅広い啓発活動を行いました。

今回から二回にわたって、啓発活動の一環として中学生から募集した人権作文三点を紹介いたします。

部落差別について

鸛ヶ池中学校3年 吉岡佳代

私は、被差別部落に生まれ、今まで育ってきました。だから当然のように、同和学習も受けてきました。けれども、身についたのは知識だけで、実際に差別を受けても、自分自身、ピンとこずに、力のなさを教えられることもありました。

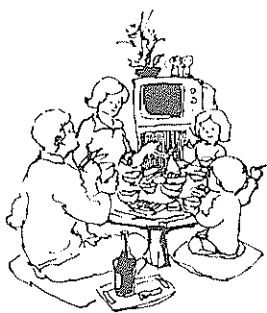
その私が、近ごろ、部落差別というものを、すこく身近に感じるようになったのです。なぜなら、私は今年、卒業を迎えるからです。

この夏、私は、部落解放子供会リーダー研修会に参加しました。いろいろな人たちが、私たちに話をしてくれました。そして、私は、おかしなことに気づきました。大人の人たちは、部落差別の話を涙を流しながら、語ってくれます。けれど、私には、その憤りが伝わってこないのです。感じる事ができなかつたのです。すると、誰かが言いました。

「君らは、なぜ、腹が立たんのか？」

（そんなこと言ったって、腹が立たないものは立たないのだから、仕方がないやんか。まだ、学習も浅いのに、無理なことを言うて、私はこんなことを思っていました。）

私たちの学校は、どちらかというと、部落の生徒の方が多いのです。同和学習を通して、学校全体が「部落差別を許してはいけない」という雰囲気なので、差別がなく、あたりまえなのです。今までずっと、こんな中で生活してきているのに、急に現実をぶつけられても困る。——それが私の考えでした。それに対して、父は、こう話しました。「確かに、悪いの中になれば、部落差別に気づきにくくなるだろう。けれども、それに関係なく、人間は初めから「けしからん」と思う心を持っている。どんな事を「けしからん」と思うのか、そこに、腹が立つ、立たない



い違いがある。それから考えると、お前はその気持ちが見えんやうだ」

人間として、基本的な、部落問題以前に、持つべき「心」が欠けていたのです。

私は、このまま社会に出ていくのが怖くなりました。部落に生まれて、十五年目を迎えるようになって、まだ何もわかっていないのです。それなのに、これから大きな壁を越えなくてはならないなんて。解放への道が、グント、遠ざかるような気がしました。

しかし、だからといって、足踏みしているわけにはいかないのです。あと、もう何カ月かたてば、私たちは、一人一人が別の道を歩き始めます。ですから、今の大きな社会を相手に、闘っていけるほどの能力を、備えて、団結しなければならぬのです。

けれども、部落差別から逃げた、自分のこととして考えていない人などがいます。この差別から



は、どうやって逃れることはできないのです。その現実を、しっかりと受けとめなくてはならないと思います。そして今こそ、立ち上がらなくてはならないのです。

だんだん、年月がたつにつれて、差別の本当の苦しさを味わってきた人々が、少なくなってきたいます。現在、特別措置法などによって、地区の状態も、だいぶ変わって、部落差別に気づきにくくなってきました。けれどまだ差別は、根強く生き続けているのです。しかも、一緒に同和教育を受けてきた仲間だと信じていた人たちまでが、ひどい差別を、平気でするようになってしまったのです。人の心というものは、それぞれ違った考えを持っていますが、これから、私たちが、生まれてくる子供たちのためにも、その一つ一つと闘い、闘得していかなければなりません。それが私たち、部落に生まれた者の使命なのです。私は、差別におされることなく、卒業を機会に、大きくはばたいいきたいと思えます。

南同研大会

わたしの出合った子供たち

徳島県阿波中学校 藤原スミ先生

同和教育を全市民のものに——をスローガンに、今年も第十八回南国市同和教育研究会が十月十五日、市民体育館を主会場に約六百五十人が参加し開かれました。午前の全体会では、徳島県阿波中学校の藤原スミ先生が「わたしの出合った子供たち」と題して講演。午後からは十三の分科会に分かれ熱心に話し合いました。今回は、全体会の講演について紹介します。

果たして、私たちは今苦しんでいる子供たちを、先生を本当に必要としている子供たちを、教育の主人公に据えているでしょうか。教育とは、子供を幸福にするというところから出発しなければならぬと思うのです。差別に抗して生きる親や子供から、本当の人間の生き方を学ぶのです。差別を残してきた、差別に取りつかれ、現実を見失っている自分自身の人間性を取り戻すことが、本当の人間の姿ではないでしょうか。

柳の枝のように、揺れ動く子供たちの心をしつかりと支え、部落差別の中に生きてゆかなければならない。子供たちの願いに誠実に答えていかなければなりません。

教師として当たり前のことです。よく、部落を抱える中学校への転任者へ「気をつけなさいよ」と言うのです。私は腹が立ちます。それは真実を知らない人が言うのです。子供を管理し、その命令に従わないのは悪い人なんだという見方しかできない先生は、怖い学校と云うでしょう。それは、人間の真実を見抜く力を子供たちが持っているからです。

子供たちの本当の姿を見るために、私は地区へ何回も何回も足を運びました。そこで出会った子供たちから、そのお母さんから、私は人間の生き方を教わりました。私を人間に近づけてくれた一人に、長欠生B君がいました。その

子を学校に來させようと、私は必死でした。訪ねていったB君のお母さんは「私が勝手に休ませよらんやけん、放つて」と言うのです。怒られても何回も家を訪ねているうち、お母さんはボツリ、ボツリと、差別の重みを語り始めました。「小学校一年のとき、十日しか学行に行けただけ、文字が書けんや。この子がいなかつたら、病院で受け付けできんけん——。そして私はB君を修学旅行に行かせるのに必死でした。お母さんの病気の具合を聞き、「今のところは心配ない」ということで、B君は旅行に行くことができました。

あるとき、B君は言いました。

「ぼくのようなダニのような人間を、なぜ心配するね」そして「先生、はよう帰りや。子供が待つちようよ」と、自分のことより私の子供のことを心配しているのです。もし、子供の本当の願いを知らなかつたら、B君をただの非行少年として扱っていたかも知れないのです。悪いと言われた生徒から学んだものは、本当の人間の生き方です。いつも目をみはるような本物の心を見せてくれました。この子たちと出会っていませんでした。私は外側ばかりで人を判断する、教師になつていざらうと思いません。

学校が変わっても、私は同じような授業を行いました。そして、子供たち全員に、自分たちのクラスの日記を書いたノートを渡し、心と心の日記交換を始めました。生き方を子供たちと語りました。そこで何が見つかったかというところ、それは「子供たちのやさしさ」です。本当にやさしい心を拾ったと



学校が変わっても、私は同じような授業を行いました。そして、子供たちが変わったら、親が変わっていきました。そして、子と親と教師がしっかりと手を結び合って人間としてつながり合っていくのです。

私のクラスの一人はこう言いました。「水のような心で学校に來ているぼくは、ピッケルで割られてしまふと変形したままで心が満たされない。もし、ぼくが悪いことをしても、ぼくの心の中の氷を回りから溶かしてくれような、温かさを持った先生を尊敬する」。時間はかかってもいいと思えます。その子のよいところを少しずつ見つけ、それをクラスの中に出してゆき共に学んでいく。教師もクラスの一人なのです。

釣りの秘訣

パートVI

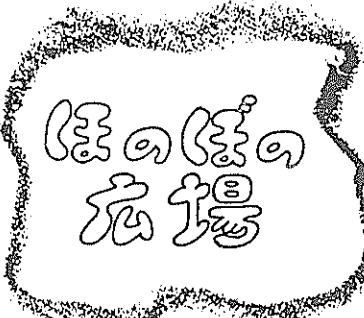
釣りの歴史 ①

趣味

釣りの秘訣を数回にわたり述べてきた。これ以上書くとな手の長談義になる。この辺で終わりたい。最後に釣りの文化すなわち歴史を書いてみたい。

浜田広信(植田)

み輪転になり、今日の動力機になった過程が文化である。舟釣りにおいても、直接糸を手で持つて舟から沈めて釣ったものである。今でも漁師には手釣りがある。この手釣りでは釣りの初めに、これを改良したのが土佐のギリ竿である。幕末土佐の藩主山内容堂公の釣りの従者藩士六戸直馬氏がギリ竿を発明し、舟から遠くへ投げて釣ることができるようになった。一大革命である。ギリ竿というのは、当時は絹糸へ波を引きそれを五尺あまりの女竹に節ごとに金の管を付けてあり糸を投げるつどギリギリと音を発したものでギリ竿の名ができた。以来明治、大正、昭和と土佐のギリ竿で名を広めた。終戦後は今日のリール竿に発展したが、原理は六戸直馬氏のギリ竿にある。文献によると、六戸直馬氏は高知市中島町にて天保九年に生まれ



そのかわいさをいつまでも

西森 律(後免町)

私、先のころ職務上、市内の学校、幼稚園視察の一員として同行いたしました。ある幼稚園のことです。私を含め男の先生方と数人で、昼食を

終えた子供たちが楽しそうに遊んでいる教室へ入りました。子供たちの中には、見知らぬおじさん、おばさんが何をしにきたかと言わんばかりに私たちを見つめる子、食事を片づける子、掃除の道具を取りに行く子などさまざまでした。私たちは教室に入り、立つてその子供たちの様子を見ておりました。そのとき、一人の年長組らしい女の子が、教室の隅に片づけてある小さなイスを一つずつ私たちに所へ運んできました。小さなイスでも、その子供さんにとっては力いっぱい一つまた一つと私たちちみんなに持って来てくれました。思いもかけないそのかわいさぐさに私たちも「ありがどう、ありがどう」と言って、その小さなイスに座りました。男の大きな方は体からはみ出す程でした。その子

明治四十五年、七十歳で死去。板垣さんや片岡健吉さんと知友であり、当時釣りの名人であった。大野元高知市長著高知の釣文化より。

ちなみに釣竿の原木は安芸郡椎名の竹が最上とする。それは海岸に生え、ときに砂が根もとに波によって運ばれて堅く育ち、節合が短く年輪が入っている(今日ではギリ竿を作る職人がほとんどいない)。当時それに使うしずやまは武

士の内職にしていた。私の知っているところでは土佐山田植地区の高芝某が最後であったと思う。なお、今日いうハリス。当時はテグスといっていたものは、台湾または海南島から輸入し淡路島の商人が加工して全国に販売していた。これもナイロンの出現によって全然止まった。しかし長所もある。山繭(天蚕)に加工したもので水に入り強い。(つづく)

図書館のよび

新刊案内

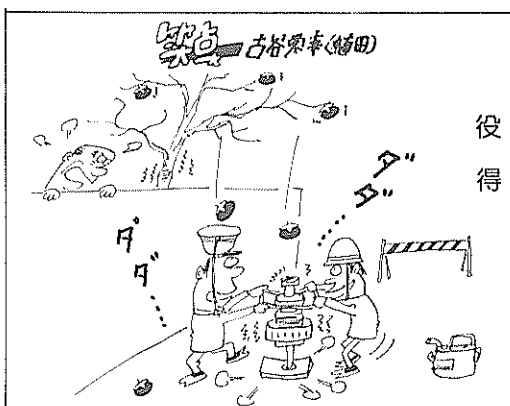
- 週末の恋(落合重子) ▼ ニューメディア時代への警告(橋本尚)
- ▼ 歴史の舞台(司馬遼太郎) ▼ 大相撲殺人事件(岡田光治) ▼ 風の盆恋歌(高橋浩) ▼ 浪びの狂詩上(沢木耕太郎) ▼ アフリカのトットちゃん(黒柳徹子) ▼ 岐路にたつ国鉄(赤旗国鉄問題取材班) ▼ ポー内申書見えない鎖(佐藤章)
- ▼ 石の座席(堀秀彦) ▼ 昭和60年度代表作時代小説(日本文芸家協会編) ▼ 日本の名随筆30冊(梅原猛) ▼ 選定図書目録1985年版(日本図書館協会) ▼ 「悪魔」と「人」の間(下里正樹) ▼ メロドラマ 村松友規 ▼ 都市と田舎(宮田登)
- ▼ 青春(松崎運之助) ▼ 地方自治のはなし(中西啓之) ▼ 倉橋由美子の怪奇草紙(倉橋由美子) ▼ 津波の心得(山下文男) ▼ 娘たちへ(滝いく子) ▼ 誰も書かなかったソ連(鈴木俊子) ▼ 我が闘争こけつまるびつ(野坂昭如) ▼ ナイス・ステーション(午前3時を撃つ(酒井一博) ▼ 地方自治法ハンドブック(議会と自治体誌編集部編)
- ▼ 地方自治と地方財政(高橋健次) ▼ 牛山羊の星座(イスカンデル) ▼ 水平運動史の研究6(部落問題研究所編) ▼ 日本の食生活全集(聞き書新潟の食事(本間伸夫) ▼ 新人生論ノート(1)(山) (高田求) ▼ 続々読ばなし集(河野裕) ▼ ドナウの旅人(中) (宮本輝)

「ほのぼの広場」に、あなたの身の回りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼ 投稿先・〒783 南国市大浦甲二二〇一 南国市役所広報委員 会まで。

「ほのぼの広場」に、あなたの身の回りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼ 投稿先・〒783 南国市大浦甲二二〇一 南国市役所広報委員 会まで。



役得

北川京子(天狼句会) 桜井美代() 中村祭生() 小笠原芳美(おがたま会) 二宮電子() 二宮弘代() 鍋島幸夫(稲生葉月会) 浜田美知() 沢本吉子()

南国歌壇

- 十六夜の月にかかりしうらご雲 大河の如くゆるやかに行く 西島 岡林きよ
- 雨多く夏過ぎにけり山畑に 秋の茗荷の花の明るさ 西野田 吉川定子
- 秋深み花狂い咲く佐田岬 ウラン二三五脳裏に刻む 篠原 山本 茂
- 照明に教材の鶏とまどいて 時ならぬ声高く張り上げ 大浦 田所志な
- 一瞬の事故に命を奪はれし 君の罪に沁む秋の高 西島 高橋佐代
- 大雪の尾根一望に惜しみなく 錦絵に染む層雲の峽 前浜 沢田千恵子

南国柳壇

- 晴着をば脱がうとせす七五三 立田 北村幸江
- しのびよる冬がもの云うすま風 十市 大家寿恵子
- 見渡せばそば一面の銀世界 西島 高橋君子
- ファッションの街で熟年ほみ出さ 古市 島田稔子

南国俳壇

- 異教徒にも聖堂涼し大理石 ここちよく帯が締りて夜の秋
- 一番機着くまで露の滑走路 人気なき池の畔りやちろる聞く
- 秋日和たつねし友も旅に出て 登山衣も橘も朱色や秋の晴
- 鳴く声にかぼそくなりし秋の蟬 駐車場空地となりて秋暮るる
- 松茸の前にとどまる主婦の顔



ご家庭で話し合せて答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・第十七回市民賞に、今年個人〇人が選ばれました。

■しめきり・11月15日

■あて先・〒783 南国市大浦甲二二〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

第165回当選者発表(敬称略)

(応募総数32通)

■答え・ 〇

■当選者 五人

尾崎美和(大地) 福島恵子(片山) 細川寿万子(千市) 刈谷京子(里改田) 服部由香(比江)

熱演に沸いた

演芸大会

入場者も
1200人超す



川添都さんら（岡豊町）
の愉快的な寸劇、みそずり小坊主

郷土芸能を通して市民の交流を
深め、収益金を福祉活動に役立て
ようと、南国市演芸大会が十月十
三日、市民体育館で開かれ約千二
百人の観客が歌や踊りを楽しみま
した。

この演芸大会は、市社会福祉協
議会、民生児童委員協議会、老人

クラブ連合会の主催で今年が五回
目。最近恒例行事としてすつかり
市民に定着し、午前九時の開門
には観客が長い列を作るほどのに
ぎわい。

舞台では、市内各地区からの出
演者約百三十人が、民謡や踊り、
寸劇、マジック、大正琴など多彩
な出し物を熱演。なかなか練習を
積んだらしく素人とは思えない方
もあり、「おひねり」も飛び交うな

ユーモア賞、踊り・おてもやん、
講座。会場の市役所大会議室には、
約九十人の聴講者が集まりました。
この日は、本市ゆかりの、高知大
学の関田英里学長が「明治前期の
政治家たち―現在の南国市地域を
中心として―」と題して講
演。自由民権運動の背景や
その広がりについて、そし
てその指導的な役割を果た
した、住吉野出身の武市安
哉や西野々出身の溝淵静園
などについて約二時間にわ
たって講演し、聴講者も熱
心に聞き入っていました。

文化財講座が好評

新しく(南 国)も発足

ふるさとの歴史を学びませんか
―と、九月から市教育委員会主
催の「文化財講座」が始まってい
ます。聴講者は、毎回百人近くと
とても好評。

十月十七日は、その第二回めの

ど観客の盛んな拍手を受けていま
した。

なお、各賞の受賞者は次のとお
りです(敬称略)

優秀賞―踊り・よさこいかもめ―
北村のぶほか九人(日章)
熱演賞―踊り・妻恋道中―村田見
佐子ほか一人(十市)
アイデア賞―マジック―清岡弘子
(長岡)

ユーモア賞―踊り・おてもやん―

講座。会場の市役所大会議室には、
約九十人の聴講者が集まりました。
この日は、本市ゆかりの、高知大
学の関田英里学長が「明治前期の
政治家たち―現在の南国市地域を
中心として―」と題して講
演。自由民権運動の背景や
その広がりについて、そし
てその指導的な役割を果た
した、住吉野出身の武市安
哉や西野々出身の溝淵静園
などについて約二時間にわ
たって講演し、聴講者も熱
心に聞き入っていました。

この講座は、来年三月ま
で毎月一回の予定で開かれ
ます。

なお、この日の講演の後、
南国市を中心とする歴史、
地理、伝説、民謡等を研究
発表することを目的に「南
国史談会」が発足しました。



この日は約90人が熱心に聴講した

佐竹一美ほか一人(岩村)
特別賞―劇・牛踊り―竹内つやこ
ほか五人(岡豊町) ▼大正琴・高
原列車は行くほか二曲―井上正彦
ほか九人(岡豊町) ▼民謡・お立
ち酒―片岡好晴(土佐清風園)
模範演技賞―歌謡吟詠・静御前―
徳橋昭俊(久礼田) ▼踊り・深川
―中沢八重子ほか一人(大徳)

現在会員は五十人余り。詳しいこ
とは同会事務局(市教育委員会社
会教育課 ☎2111 内線31
4)まで、お問い合わせください。

米国紀行④(最終回)

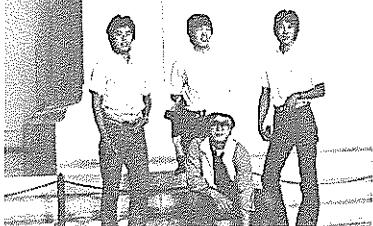
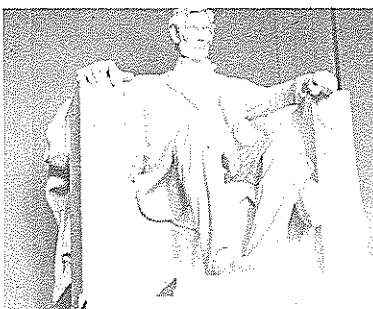
岡 雅司 (才谷市4日市長) (才谷クラブ会)

日本の工業製品は

世界のトップ

北の州の寒さが和らぐころ、スノーボードはそれぞれ故郷へと帰り始める。この時期になるとフルーツスタンドが再び忙しい日々を迎える。そして、この時期を過ぎるとトラクターでの除草・耕起、灌漑などの諸作業を経て、ここでの研修は終わりを告げ、日さしの強くなるのを背にアメリカ東部の旅へと出発する。

観光を兼ねた十日間のバスでの大陸横断を通じて、研修生同士で



ワシントン市にある第16代大統領リンカーンの石像前で(左が岡さん)

経験談などを語り合いながら国土の広さを再び体で感じさせられた。過ぎてしまえば実際に短かった二年間であった。この間に多くの事を学び経験することができ、またアメリカ人、メキシコ人はもちろん、中国人、イラン人、エルサルバドル人、そして日系人ら多くの人々と接し、人種あるつぽであることを再認識した。

あるとき、アメリカ人に「ソ連とアメリカが戦争になればどちらが勝つと思うか」と、単なる気持ちで質問したところ、彼は「アメリカが勝つに決まっている。なぜならば、ソ連は社会主義であるの

に対し、アメリカは資本主義である。つまり、私たちはそのとき自由を取り戻すために自ら立ち上がるだろう」と言った。また一方、義理、人情、年功序列それに絶対的な集団優先であり、自己主義的人間の多いように思う日本人に比べ、米国人は自由と平和を非常に強く重んじる多種多様な人間の集団であるように思う。

また、米国内にはこれほどまでにかというほど日本の工業製品、電気製品等がはん濫している。米国で長年生活している日本人が言っていた。「最初この国に来たころは、せつかくだからとか珍しいとかいって米国製品を買っていたが、やはり性能、品質、安全性などの面から見ても日本製品に劣っており、知らぬ間に日本製品を買うようになっていった。また日本製品でないとならないようになった」。

これほどまでに日本は工業部門等においては世界のトップである。しかし、残念なことに農業については例外であり、米国の足もとに及ばないのが現状である。

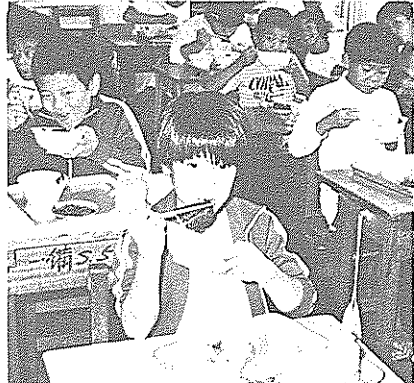
そこで、「日本の農産物でなければならぬ」という日が来るように、米国での体験を生かしながら、米国の体験を生かしがっていくつもりである。

最後に、今年はIYY(国際青年年)でもあります。この年をき

っかけとして世界中の青年が手と手を取り合い、次世代の主役として世界平和のために、諸問題解決にと、それぞれの場で活躍していかなければならないと外国生活を経験した一人として感じることも、地域青年活動(4日クラブ)に積極的に参加しております。

『うなどん』に大喜び

《国府小》



特別メニューのうなどんに大喜びの子供たち

おいしいお米とウナギを食べてもらおうと、十月二十一日、市米消費拡大推進協議会が国府小(竹村一起校長、百五十三人)の子供たちに「うなどん」を贈りました。

これは、米消費拡大事業の一環として行われたもので、お米十六キロとウナギ百匹を用意し、調理は久枝の高知県淡水養殖漁業協同組合(原正登司組合長)の人たちが協力。校庭に特設調理台を作り、

これからも一人でも多くの青年の参加を促し、地域活動をよりいっそう盛り上げていくつもりです。今回で、このシリーズは終わります。楽しい体験談を寄せていただいた岡雅司さん、本当にありがとうございました。

おいしい香りを漂わせながらウナギ料理を実演すると、子供たちは興味深く見入っていました。また、調理台の隣ではパトライスの実演も行われ、子供たちは大喜び。

昼食の時間になると、みんなが一緒に「ありがとうございました。いただきます」と、元気な声でお礼を述べ、早速うなどんを試食。「おいしい。おいしい」と、特別メニューに満足そうでした。

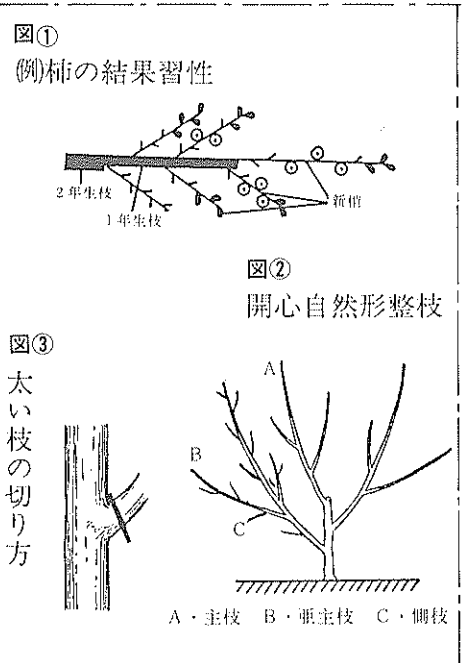
普及所から④7

果樹のせん定

果樹のせん定は、大変難しい技術であるかのように考えられがちですが、味のよい、きれいな果実を毎年収穫するためには、欠くことのできない作業です。また、せん定によって木の姿が目に見えて変わってくるし、枝の伸び方や果実に正直に表れるので楽しいものです。ぜひ挑戦してください。

果樹の結果習性

- 前年の枝に直接果実がつくもの ナシ、リンゴ(頂芽・腋芽)、モモ、ウメ、スモモ(腋芽)
- 前年の枝の先に近い芽から伸びる新梢に果実がつくもの カキ、クリ: 図①
- 前年の枝の元の方の芽から伸びる新梢に果実がつくもの ブドウ、イチジク(キウイフルーツ)



第25回市展
11月17日(日)~24日(日)
市民体育館
<搬入=11月13日(水)>

せん定のしかた
果樹の整枝法はブドウ、キウイフルーツなどは棚仕立が行われ、それ以外では図のような開心自然形仕立が一般的です。: 図②
せん定は、まず木のふところに光線が入るように、主枝や亜主枝のような太い枝の間引きを行います。次に果樹類は一度にたくさん果実をならせず、翌年の花つきが悪くなりやすいため、花つきが多いと思われる場合は、成り枝の間引きせん定を行います。
また、着果部位が主枝や亜主枝から遠くなりやすくと、よい果実が取れませんので、長くなった側枝は切返しせん定を行うか、または新しい枝に更新します。
いままで無せん定の木で、これらのせん定を一挙に行いますと、

木が弱りますので二三年で実施するとよいでしょう。: 図③
なお、太い枝の切口には接ろうを塗って保護してやります。
せん定の時期
○ミカン類 二月下旬~三月
○落葉果樹 落葉後 二月までキウイフルーツは一月中旬まで
〔南園農業改良普及所〕

農家の皆さんへ

農業経営改善に
公庫資金を

農業漁業金融公庫では、長期・低利の各種資金の借入申し込みを受け付けています。
〔総合施設資金〕
この資金は、自立経営を目指して農業経営の改善・拡大を図ろうとする方のために設けられている資金です。
◎貸付対象事業... 農地等の購入や改良、農業用建物や施設の建築、畜産や農機具の購入等
◎貸し付け限度額(個人の場合)
①事業費の八〇%(特認九〇%)
②一人当たり二、四〇〇万円(特認七、二〇〇万円) 以上のいずれか低い額
◎償還期間 二十五年以内(十年以内の据置期間含む)
◎利率 年五・〇%
なお、このほか、自立経営にいたるまでの中間的な「育成経営」を目指す場合並びに法人については、それぞれ別の貸し付け限度額が設けられています。
〔農業基盤整備資金〕(非補助)

◎貸付対象事業... かんがい排水、農道・索道、農地の造成や維持管理等。
◎対象者 農業を営む個人及び法人、農協、土地改良区。
◎貸し付け限度額 一人当たり必要額が五〇〇万円までは全額、これを超える部分については八〇%。
◎償還期間 二十五年以内(十年以内の据置期間を含む)
◎利率 年三・五%(「利子軽減対象事業」として認定を受けるもの)
〔農地等取得資金〕
この資金は、経営規模の拡大のための農地等の取得を対象とするものです。
◎対象者 農業を営む個人、農業生産法人その他。
◎貸し付け限度額 必要額の八〇%または一人当たり四〇〇万円(農業生産法人一、六〇〇万円)のいずれか低い額。
なお、このほか農業委員会のあ

作品募集
ビデオ、スライド コンテスト
8ミリ映画
応募期間 11月5日(火)~9日(土)
お問い合わせは市立視聴覚ライブラリー(☎2111内線509)まで。

つせんによる場合は一人当たり一、二〇〇万円(農業生産法人四、八〇〇万円) 農用地利用増進事業の場合一人当たり一、七〇〇万円(農業生産法人六、八〇〇万円) 等々の特例限度額が設けられています。
◎償還期間 二十五年以内(三年以内) 果樹の場合は十年以内の据置期間を含む
◎利率 年三・五%(一定の要件に該当する者以外は年五・〇%)
詳しくは市産業経済課(☎2111内線225)、農協または農林公庫高松支店(☎08782880)へお問い合わせください。

「障害者の日」の集い
障害者問題に関する認識を深め、福祉思想の普及啓発を図ろうと、「障害者の日」の集いが、次の日程で開かれます。障害者福祉の増進のため、多くの市民の参加をお願いします。
とき 12月5日(木)、午前10時30分~午後4時30分
場所 県民文化ホール(高知市)
参加者 障害者の方、福祉関係者、一般市民どなたでも。
内容
○記念講演 作家 大江健三郎氏(予定)
○意見・体験発表
○障害福祉功労者表彰
○アトラクション
歌手 長谷川きよし氏ほか(予定)
○障害者の作品展
経費 入場料は無料
参加方法 集いへの参加を希望する方は、福祉事務所社会係まで申し込みをしてください。

盲導犬◆◆◆ 給付対象者を募集
対象者 原則として満十八歳以上の視覚障害者で、次の要件を満たす者。
①障害程度一級の身体障害者手帳を有する者②県内に一年以上居住している者③現に就労している者または就労することが確定している者。
費用 無償(ただし、歩行訓練に要する経費は、原則として自己負担とする)
給付方法 応募者の中から一名を、盲導犬協会において調査選定する。
申込期間 11月1日~12月20日
申し込みは...
給付を希望する方は、福祉事務所社会係に申請書があります。なお、詳しいことは聴高知県盲導犬協会(☎9497)までお問い合わせください。

来年度 小学校へ 入学される方
昭和五十四年四月二日から同五十五年四月一日までに生まれた児童は、来年度四月に小学校一年生となります。係では、できる限りの調査をし、入学対象者に通知しました。
もし、通知の届いていない方がありましたらお手数ですが、係までご連絡ください。
連絡先: 市教育委員会学校教育課(☎2111内線313, 316)

11月5日から 年賀葉書を発売
郵便局では、十一月五日から四十円の年賀葉書と寄付金つき年賀葉書(総入り四十五円、三種型)を発売します。
発売日以降、なるべくお早めに買い求めください。
なお、現在四十円の年賀葉書の予約受け付けをしていますので、ぜひお気軽にご利用ください。
郵便小包の 無料集荷実施中
現在、南園郵便局では、郵便小包の無料集荷を実施しています。電話をくださいば、お伺いしますのでお気軽にご利用ください。
大正4年10月生まれの方 老人医療受給手続きを
大正4年10月生まれの方は、今月から「老人医療受給資格」ができましたので、必ず医療保険証と印鑑を持って、市民課給付係まで手続きをお願いください。



市民カレンダー

11月1日から11月20日まで

●健康相談など

内 容	地 区	日 曜	受 付 時 間	場 所	対 象
健康体操	大 篠	毎週火曜日	9:30~11:30	大篠地区公民館	
		毎週水曜日	午後7:30~9:30	関公民館	
	三 和	毎週木曜日	1:30~3:30	三和地区公民館	
	久礼田	毎週金曜日	1:00~	植田公民館	
不用犬引き取り	全地区	㊄ 火	9:00~9:30	市立図書館前	
愛の献血	"	5 火	9:30~11:00	県税事務所前	
			1:00~3:30	ミロク製作所	
3種混合 予防接種	"	6 水		個人通知者	
		13 水			
		20 水			
健康相談	左右山	6 水	1:30~3:00	左右山公民館	
	長岡西部	11 月	10:00~11:30	中央福祉館	
			1:30~3:00		
	日 章		9:30~11:30	日章保健婦室	
	岡 豊		9:30~11:00	岡豊支所保健婦室	
	田村西部	14 木	1:30~3:00	田村西部公民館	
	三 和		1:00~3:00	三和地区公民館	
下田村	20 水	9:30~11:00	下田村公民館		
婦人がん 検 診	岩 村	7 木	午 前	岩村農協	申し込み者
	前 浜		午 後	南部福祉館	
インフルエンザ 予防接種	全地区	8 金	8:30~12:00	谷医院、吉川診療所	希望者
		19 火		北村病院、山本内科	
健康相談 育児 "	稲 生	8 金	10:00~3:00	稲生地区公民館	
	国 府	11 月	1:30~4:00	国府地区公民館	
	後 免		1:30~4:00	後免町公民館	
ライオンズクラブ 無料検診	奈 路	10 日	9:00~11:00	奈路小学校	希望者
	黒 滝		1:30~3:00	黒滝小学校跡	
歯科相談 育児 "	大 篠	11 月	1:30~4:00	社会福祉センター 保健婦室	
育児相談	前 浜	11 月	10:00~11:30	南部福祉館	
	日 章		1:30~3:30	日章保健婦室	
	岡 豊		1:30~3:00	岡豊支所保健婦室	
	三 和		14 木	10:00~11:30	
10カ月児健診	全地区	12 火	1:30~2:30	市立中央公民館	S.59. 12月生まれ
リハビリ教室	"	13 水	1:30~	社会福祉センター リハビリ室	
保健相談	前浜・久枝	13 水	9:30~11:00 1:30~3:00	南部福祉館	
4カ月児健診	全地区	14 木	9:30~10:30	市立中央公民館	S.60. 6月生まれ
3歳児健診	"	15 金	1:00~2:30	"	S.57. 9月、10月生まれ
人権行政相談日…20日 (10:00~3:00) 場所・社会福祉センター 無料法律相談日…9日 (10:00~12:00)					

●金属類の収集

日 曜	地 区	備 考
㊄ 金	大篠	第1金曜日
4 月	三和	" 月曜日
5 火	野田、後免、宇田	" 火曜日
6 水	長岡	" 水曜日
12 火	国府、岩村、岡豊、三軒家	第2火曜日
13 水	久礼田、瓶岩、上倉	" 水曜日
19 火	前浜、下島、久枝、立田、田村	第3火曜日
20 水	十市、三和	" 水曜日

●不燃物(金属類以外)の収集

日 曜	地 区
㊄ 金	立田
2 土	田村
4 月	十市南部
5 火	里改田、片山
6 水	浜改田
7 木	前浜、下島、久枝
8 金	山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園
9 土	篠原、明見
11 月	物部
12 火	稲生
13 水	能間、野田口、城陸、榎田町、朝日町
14 木	稲吉、西窪、新川
15 金	1区~8区、南小巻、北小巻、祈年団地
16 土	宇田、東崎東部・中部・西部、祈年
18 月	野田
19 火	後免(東町、横町、中町、中ノ丁、東芝住宅)
20 水	後免(西町、栄町)

●休日在宅医

日 曜	当 番 医	電 話
㊄ 日	北村病院(後免町)	☎2101
4 月	西川診療所(物部)	☎2751
10 日	山本医院(後免町)	☎2545
17 日	谷医院(片山)	☎8335

南国市役所…… 〒783南国市大桶甲2301 ☎63-2111(代)

領石支所☎62-0020 岡豊支所☎64-2423 十市支所☎65-8401

水道局☎63-1234 市民体育館☎64-3498